

Touch

タッチ

第45号
編集・発行

春日部市青少年育成推進員協議会
広報部会(豊春・武里地区)
事務局

春日部市こども未来部こども政策課内

TEL 048-736-1111

内線 2573・2574

地域と家庭

学校の架け橋となって



【市長とわがまち未来トーク（広報かすかべ9月号）に掲載されました】

青少年育成推進員は、青少年を地域で守り育てる！を合言葉に、声かけ・あいさつ運動や有害環境の浄化活動などを通して、地域間の連携を深めることを目的に活動をしている「地域の青少年育成ボランティア」です。

「青少年を育てる地域の力」というテーマで石川市長と懇談し、私たちの取組や活動を通して感じたことなどをお話しさせていただきました。

市ホームページに掲載されていますので、こちらのQRコードよりご覧ください。



守りたい良い環境を 子どもたちのために!!

元気いっぱい！ 春日部の子どもたち



幸松小学校 5年生の農業体験

毎年5年生は地元農家の協力を得て、学校から歩ける距離で田植え・稲刈り体験を行っています。

食育、地元産業、体験活動といった点で様々なことを学べるとも良い取り組みだと感じました。



宮川小学校 校内ビオトープ

県の生態系保護協会の指導の下、手を加えない自然な環境のなか様々な生き物や植物の観察などを行っています。

まるで自生しているかのように自然のまま、生態系のルールを壊すことなく見守る素晴らしい環境が校内にありました。時にはめずらしい蝶が飛んでくるともあるそうです。



豊野中学校 生徒会選挙

訪問した日は生徒会選挙の日でした。体育館で最後の演説が行われ、教室で投票をしていました。実際に選挙で使用されている投票箱等を使用して投票を行っているそうです。

18歳になれば選挙権を得られるので、生徒たちにとっては貴重な体験になっていると感じました。



武里中学校 武里地区推進員による学校訪問

今年度も、各地区の推進員が各担当の学校に訪問をさせていただき、沢山の貴重なお話や活躍する児童・生徒たちの姿を拝見することが出来ました。

私たち推進員は、その地域と家庭、学校の架け橋となって地域間の連携を深める事を目的として活動しています。



地区名	推進員氏名	担当小・中学校
粕壁(東)	渡 辺 伸 江	粕壁小・緑小・ 春日部中・緑中
	土 屋 美 佳	
	三 橋 礼 子	
	遠 藤 節 子	
	池 田 耀 子	
粕壁(西)	永 田 祐 子	八木崎小・粕壁小・ 上沖小・春日部中・ 大沼中
	松 坂 和 子	
	大 川 寿 子	
	岩 下 裕 美	
	吉 田 理 子	
内 牧	長 壁 知 子	内牧小・春日部中
	齋 藤 真衣子	
	渡 部 由宜子	
	入 澤 人 美	
豊 春	丹伊田 久美子	豊春小・立野小・ 宮川小・豊春中・ 大増中
	秋 元 幸 子	
	山 崎 富美男	
武 里	金 重 光 江	上沖小・備後小・ 正善小・武里小・ 大沼中・武里中
	鈴 木 三枝子	
	石 川 ヤヨヒ	
	中 村 記代子	
	茂 木 静 子	
	石 川 友 和	
	鈴 木 由 美	
	中 條 一 世	
幸 松	増 田 さとみ	幸松小・小淵小・ 牛島小・東中
	鈴 木 京 子	
	小 林 真 理	
	佐 藤 明 子	
	小 野 美恵子	
	内 山 睦 子	
	清 水 明 子	
	三 澤 祐 子	
豊 野	新 井 由美子	豊野小・藤塚小・ 牛島小・豊野中
	渋谷 千恵子	
	西 郷 由 美	
	中 島 美智子	
	浄 閑 和 美	
	栗 野 江里子	
	細 谷 知 恵	
武里団地	横 川 ひと美	武里南小・武里西小・ 春日部南中
	矢 島 順 子	
	大 木 眞 嗣	
	小 沼 久 代	
庄 和	江ヶ崎 聖 子	桜川小・南桜井小・ 川辺小・中野小・葛飾中・ 飯沼中・江戸川小中
	山 田 てる美	
	河 合 千 秋	
	山 田 晃 平	

学校訪問で見つけた



江戸川小中学校

特色ある学校運営



県内初の義務教育学校として今年度より開校しました。学年割がジュニア(1～4学年)、ミドル(5～7学年)、ハイ(8・9学年)と分けられ、9か年を見通し発達段階を重視した指導が実施されています。

水泳の授業では民間のスイミングスクールを利用し質の高い

水泳授業が行われるなど、特色ある教育を行っています。

学校を訪れると子どもたちがみんな明るく、とても充実した表情が印象的でした。



牛島小学校

春日部工業高校との交流会



機械科の生徒たちが毎年のように新しい電車を小学校に持ってきてくれ、交流が行われています。

児童・生徒たちの楽しそうな姿が見られました。両校の児童・生徒が楽しみにしている企画だそうです。



4・19	県団体委嘱式・全体研修会
4・24	令和元年度総会・懇親会
6・19	薬物乱用防止関連募金活動
7・1	市長とわがまち未来トーク
7・12	社会を明るくする運動駅頭
8・25	キャンペーン
10・6	社会を明るくする運動講演会
10・28	家庭の日啓発活動（粕壁）
11・3	家庭の日啓発活動（豊春）
11・5	薬物乱用防止指導員研修会
11・10	家庭の日啓発活動（庄和）
11・26	スーパー元気さわやか集会
11・29	かすかべ郷土かるた大会
12・18	家庭の日啓発活動
1・27	埼玉県地区人権教育指導者研
1・30	修会
2・16	埼玉県地区人権教育指導者研
2・19	修会
2・24	三市合同研修会
2・27	全体会
2・30	青少年健全育成地域の集い
3・3	暴力追放・薬物乱用防止埼
3・10	玉泉民大会
3・17	青少年健全育成春日部市民議
3・24	青少年健全育成講演会
3・31	連携活動事業「親子サイエ
4・7	ンスショー」
4・14	学校訪問活動

活動報告

総会・研修会

平成31年4月24日(水)
教育センターにおいて総会を開催しました。



▲委嘱状交付の様子

また、平成31年4月1日(令和3年3月31日)の任期で活動する推進員への委嘱状を市長よりいただきました。

総会後、「推進員として何をしたい?」をテーマにワールドカフェ方式で意見交換をしました。

今年度から新たな任期で委嘱を受けたこともあり、全推進員でこれからの活動に対する思いや不安、やってみたいことなどをカフェのようにリラックスした雰囲気です話し合いました。意見交換は尽きずあつという間に時間が過ぎ、今後の活発な活動を期待させる研修となりました。

三市合同研修会

令和元年11月29日(金)

越谷市中央市民会館において越谷市・草加市・春日部市の三市で開催されました。

「統計から見た生徒指導と課題」をテーマに、埼玉県教育局東部教育事務所の生徒指導支援員の秋山聡氏にご講演いただきました。

小中学校における子どもの暴力行為の発生件数、いじめの状況、不登校など年度別データから見て、背景の移り変わりや原因は何なのかを考え、支援・指導の目標、対応のポイントを探っていかなければならないとのことでした。また、発達障害を持つ生徒の指導なども先生自らの体験談を踏まえて話してくださいました。子どもによって違うこと



▲研修会の様子(ワールドカフェ方式)

全体会

令和元年12月18日(水)

教育センターにおいて全体会を開催しました。

市内の青少年育成推進員が一堂に会し「異変に気付くために」自殺予防ゲートキーパー研修」と題して埼玉県立精神保健福祉センター地域支援担当の守屋明子氏を講師に



▲講演会の様子

を理解して安心させ、教員が責任を持って接していかなければならず、どの学校も同じような問題を抱えているとのことでした。耳にして「あれ?」と感じた違和感を流すことなく、生徒に向き合っていくことが大事だというお話がとても印象的でした。教育の現場で、今の時代の難しい指導のあり方が考えられているように、家庭での向き合い方や地域も目を向けることで子どもたちを守り育てていきたいものです。

お招きして研修が行われました。

自殺は経済・健康・家庭・学校・勤務・男女問題などの要因が4つ以上重なるると自殺行動に結びつきやすいそうです。10代男女の死亡原因1・2位に自殺があり、この状況は何年も変わっていません。自殺してしまった児童生徒の半数以上の原因が分からないというデータも出ており、裏を返せば、子どもたちが悩んでいるのに気づけていない親が半数以上いるという事だと思っています。

近年のSNSによる相談数は圧倒的に女性が多く、男性は相談に対して抵抗があるそう、男女の自殺者数の差に関係していることがうかがえます。

最後に、自殺を防ぐ関わりとしてメンタルヘルス・ファーストエイドの5原則というものがあり、頭文字を取って



▲研修会の様子

「りはあさる」と覚えるそうです。

「り」リスクをチェックする
「は」話を聞く
「あ」安心と情報を提供する
「さ」専門家のサポートを勧める

「る」セルフヘルプを勧める
推進員(地域の方)として一人では対応せず、連携は「リレー」ではなく「手つなぎ鬼」方式で対応してくださいとのことでした。

今回の研修は大変に実りある研修会となりました。

編集後記

今号は元気な子どもたちをたくさん紹介したいという意見があり、学校訪問を中心に編集しました。編集会議では委員の皆さんが活発に意見を出し合った結果、とても良いものが出来たと思います。(自画自賛) これからも地域の子どものたちの笑顔が増えるように頑張って活動をしてまいります。



▲活発に行われている編集会議